

不二速報

発行日 2005年11月 日
第6号(2005年度教職員研究集会報告号)

2005年度教職員研究集会終わる

05年度の教職員研究集会が、9月26日(月)12時30分～15時00分にかけて行われました。これまで教職員研究集会は、7月に行われてきましたが、落ち着いて取り組むため今年は9月の開催としました。当日の参加者は、東部35名、西部26名でした。西部では立て看板を見て学生も参加してくれました。

昨年と同じように二部構成としましたが、第一部と第二部の間に、今後の私たちの給料にも影響を持ち得る可能性のある人事院勧告について、根本書記長に「あなたの給料はこんなに下がる、かもしれない!」というテーマで解説してもらいました。組合としては公務員の賃下げと法人職員の給料を直結させることに反対の姿勢です。



第一部では、学務部の滝下正敏さんに「己を守ることに精一杯?—職場からは“ぼやき”だけが」というテーマで講演して戴きました。今年の教職員研究集会は各支部から選出された7名の推進委員(遠山弘徳さん、郷式徹さん、関根理香さん、逢坂興宏さん、山谷克さん、田中昭さん、中尾健二さん)と執行部の教育文化担当を中心に運営されました。今年の推進委員会が、滝下さんに



講演をお願いしたのは、大学は多くの職種の職員で成り立っており、相互にそれぞれの職種の置かれた状況や思いを共有する必要があるという考え方からでした。滝下さんからは、ご自身が組合に入った切っ掛けや当時の組合の様子から今日の大学、組合の現状や課題、教職員の定数の変遷などについて幅広くお話戴きました。

第二部では、人文学部の橋本剛さんに「教職員および学生のストレスとストレスへの対応」というテーマで講演して戴きました。法人化以降、職場の合理化・多忙化が進む中で、教職員組合として労働条件の整備に努力する一方で、一人ひとりの教職員や職場レベルでのストレスへの対応についての学習が必要

静岡大学教職員組合

静岡：
〒422-8529
静岡市駿河区大谷 836

TEL/FAX:
054(236)0173 (直)
054(237)1111 (代)
2790 (内線)

E-mail
suu@jade.dti.ne.jp

浜松：
〒432-8561
浜松市城北三丁目 5-1

TEL/FAX:
053(475)9035 (直)
3910 (内線)

E-mail
suu-seibu@vcs.wbs.ne.jp

目次：	
教研集会報告	1~3
あなたの給料はこんなに下がる、かもしれない! 昇格交渉について	3
組合からのお知らせ	4



だと考えたからです。橋本さんからはストレスの研究の成果などについてわかりやすく話して戴きました。

終わった後に参加者に感想を書いて戴きましたが、「事務系職員の正直な声を聴くことができ非常に有意義であった」、「大学全体の事がわかってよかった。こういう機会をもっとつくってほしい。忙しくて話をきく時間がほとんどないため」、「大谷キャンパスの事務職員の方からとても正直な意見を事例を上げながらお話戴いて有意義だったと思います。静大の向上を思う熱意が感じられてよかった

です」、「事務系職員の声がなかなか聞こえにくい状況の中で、滝下さんの話(発言)は大いに意味があることだと思いました。橋本先生のストレスの話は分析的で興味深いものでした。法人化後、教職員のさまざまな職場のストレスに対して、組合も対処していただければと思います」、「確かに総定員法で国立大学全体で3%の定削率でも教員が増員しているため、事務・技術では5年で10%の定削になっていたことは事実で、さらに問題なのは、教員サイドにはそのことを知らない人が大多数であったことだと思う。また、組合を含め公表しなかったことだ。工短廃止に伴い、夜間主の増設は、工学部及び教職員にとって多大に負担になっている事実、入学者を見た場合の夜間主の意義、……を考慮すればいたしかたないと思う」といった感想が寄せられました。

参加した学生からは「大学の苦しさがゆるのが少しわかった。ストレスの話は大変おもしろかったが、対応・対策の面をもっと強調してほしい。学生にも、大学の現状をもっと知らせてほしい。もっと意見をぶつけた方がいいと思う。静岡・浜松が集まって人と人が対面して話をした方がより理解が深まっていいと思う。あと質問もしやすいと思う」という前向きな提案をもらい勇気づけられました。



全大教第17回教職員研究集会に参加しました

静岡大学での2005年度教職員研究集会が終わってすぐの9月30日(金)～10月2日(日)に全大教第17回教職員研究集会が名古屋大学で開催されました。

三日間にわたり、総会、講演、分科会が催されました。はじめて参加しましたが、大学の今日的な課題について多くの情報が提供され、参加して良かったと強く感じました。

分科会は「大学教育問題」、「組織づくりと組合のあり方」、「大学財政問題」、「教員養成をめぐる現状と今後のあり方」、「法人制度化における大学の自治・自律的機能のあり方」、「大学と地域社会」、「法人制度化における労働関係」、「公立大学」、「大学・高専における男女共同参画の実現」、「図書館職員」、「事務職員」、「技術職員」、「大学共同利用研究機構」、「附属学校」、「非常勤職員」に分かれています。このように数多い分科会ですので、身体が一つなので出たくても出られない分科会があったことが残念でした。

一日目の講演の後、「大学財政問題」と「事務職員」の分科会に参加しました。「大学財政問題」分科会に参加して、組合として大学法人の財政分析能力の必要性を強く感じました。また、「事務職員」の分科会に参加して、国立大学法人の事務職員の人事と研修の仕組みの一端について学習する

とともに、大学を愛する事務職員の処遇と研修支援について組合として研究していくことの必要性を強く感じました。

教育文化部 藤原 文雄(教育学部支部)

あなたの給料はこんなに下がる、かもしれない!

1. 「給与構造の見直し」－当該地域の民間賃金準拠

俸給表の平均4.8%引き下げと地域手当の導入、高位号俸者の引き下げ幅は7%!
従来の調整手当(静岡=3%)から地域手当(静岡=6%、浜松=3%)へ

来年(2006年)4月から実施の方針

現給は保障

2. もし、静岡大学にも導入されたら

(調整手当・地域手当以外の諸手当はないものとして計算しています)

a. 教授(50歳)5-15の場合

現在俸給530,000円+調整手当15,900円=545,900円

→496,300円+地域手当29,778円=526,078円 19,822円の引き下げ

(年収=約895万円→約865万円)

浜松キャンパスでは530,000円から511,189円へ18,811円の引き下げ

b. 助教授(40歳)4-9の場合

現在俸給397,000円+調整手当11,910円=408,910円

→378,000円+地域手当22,680円=400,680円 8,230円の引き下げ

(年収=約671万円→約659万円)

浜松キャンパスでは397,000円から389,340円へ7,660円の引き下げ

c. 職員(50歳)5-21の場合

現在俸給368,800円+調整手当11,064円=379,864円

→344,800円+地域手当20,688円=365,488円 14,376円の引き下げ

(年収=約623万円→約601万円)

浜松キャンパスでは368,800円から355,144円へ13,656円の引き下げ

d. 職員(40歳)4-12の場合

現在俸給308,600円+調整手当9,258円=317,858円

→297,900円+地域手当17,874円=315,774円 2,084円の引き下げ

(年収=約521万円→約519万円)

浜松キャンパスでは308,600円から306,837円へ1,763円の引き下げ

3. 組合の基本方針

「給与構造の見直し」に反対する。

国立大学法人の給与・労働条件は労使の団体交渉によるべきである。

昇格交渉を行いました

10月4日、人事労務課との間で職員の昇格についての交渉を行いました。

組合側が作成したリストに基づき、具体名を挙げながら昇格を要求しました。交渉の成果について詳細に書くことは差し控えますが、一定の前進があったものの高位の級については解決すべき課題も残されました。

静岡大学教職員組合公式HPも
ご覧ください。

<http://www.jade.dti.ne.jp/~suu/>

組合員のための組合

あなたも組合に加入しませんか!

お知らせ

《組合書記局閉局のお知らせ》

静岡、浜松各書記局は、下記の
日程で閉局いたします。

11月18日(金)全日 「中部
ブロック書記研修会及び教職員共
済担当者会議」(18~19日)出
席・それにとまなう代休

この日程以外でも突発的に閉局
することもあるかと思えます。

ご迷惑をおかけしますが、よろ
しく願いいたします。

組合からのお知らせ

☆ 組合員拡大月間 ☆

11月から年末にかけて、組合では組合加入のチラシを作成し
て、各支部の協力を得ながら組合員の拡大に取り組みます(浜松
キャンパスではすでにスタート)。組合員の皆様のご協力や情
報提供を、ぜひお願いします。

☆ 支部長会議が行われます ☆

11月4日(金) 12:30から支部長会議が行われます。

場所 静岡:理学部3F中会議室 浜松:工学部TV会議室

議題 組合員拡大について

各支部の現状

☆ 「県国公」「県国公女性協」定期大会が行われました ☆

10/22,29に県国公及び県国公女性協の定期大会が行われました。
県国公・女性協の両方定期大会に出席してみて、国家公務員の方々
が削減や人勤に心痛しておられる状況がよくわかりました。我々の
職場とどこがどう違うのか、どう改善していくべきなのか、いろい
ろな方のお話を聞き、考えさせられる、いい機会だったと思います。
(書記 山口)

女性協次年度の静大の幹事がまだ決まっていません。若い方も大
勢参加されていましたので「やってみたい」、「やってもいいかな」
と思われる方は、ぜひ書記局までご連絡ください。

☆ 組合スキーツアーのお知らせ ☆

本年度のスキーツアーは新潟県妙高高原赤倉温泉です。
ご家族、お友だちお誘いの上、ご参加ください。

日 程	12月22日(木)夜・発~25日(日)夜・帰着
行き先	赤倉温泉
宿泊先	赤倉セントラルホテル ゲレンデまで1分の好立地!
参加費	大人 35,000円 小学生 30,000円 幼児 5,000円
	往復バス代、2泊7食(朝・夕各2、昼3)、滞在中リフト代込み (ただし幼児の寝具、食事は含まれていません。幼児のリフト代は無料)
	※ 参加人数によっては、多少参加費の変動があります。
	※ 12月16日(金)17:00以降のキャンセルは、 取消料5,000円を頂戴します。

申込み 11月21日(月)締め切り
この日までに、組合書記局までご連絡ください。

※ 申込み用紙付きのちらしも配布いたします。

